

## 美術Ⅰ 題材名 表現 彫刻「鱈のレリーフ」

### 1 題材の目標

鱈はレリーフで表現するのに手頃なサイズであり、食材として身近である。興味をもって生の鱈を観察できたか、特徴をとらえて粘土で表現することができたか

2 材料 A4版画板 石粉粘土ラドール 粘土べら 木工ボンド 色塗りにアクリルガッシュ絵具

### 3 展開

鱈を見ながらデッサン	2時間
デッサンの輪郭線のみ板にカーボン紙で転写	1時間
板に大まかに粘土をつける	1時間
鱈の頭部分をつくる	2時間
鱈の胴体をつくる	2時間
鱈のひれと尾をつくる	2時間
レリーフに彩色	2時間



生の鱈



形の確認

### 4 題材の評価基準

美術への関心意欲態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
身近な魚「鱈」を観察して、感じ取ったことや考えたことから表現」することに関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、主題を追求して表現」しようとしている	鱈の特徴や立体感を理解して粘土や道具の使用したときの表現形式の特徴を生かして下図を描く、形体などを工夫して創造的な表現の構想を練っている	レリーフであることを考慮して、実際の鱈の立体感に応じて、粘土や道具の使い方を生かして表現している	作品を生徒で互いに鑑賞しあうことにより、その作品の良さを感じ取る



5 その他 生の鱈は、あらかじめ冷凍しておいた物を授業のはじめに霜を水で表面を流す、2時間の間形が崩れない。ひれは手で広げて描かせる。生魚はめずらしいののに興味を持ち取り組む。

## 美術Ⅲ 題材名 表現 デザイン「チョークアート」

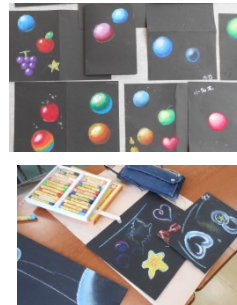
### 1 題材の目標

チョークアートの黒板(ブラックボード)は看板として使用されている。装飾性と書き込める機能がある。黒板として作品完成後使用することを想定した構想ができたか、使用するオイルパステルの色彩を黒い背景に対して明暗を効果的に表現できたか。

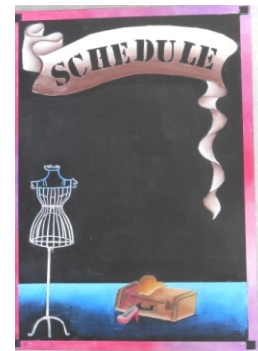
2 材料 B3判MDF合板 黒板塗料 オイルパステル 鉛筆型コンテの黒と白 マスキングテープ チャコペーパー けしゴム 艶消しラッカースプレー他

### 3 展開

MDF合板に黒板塗料を塗りブラックボードを作る (B3とB5のボード)	1時間
チョークアートの技法の理解するために試し描き用のボード(B5)にオイルパステルで描いてみる	2時間
画用紙に下図を描く	4時間
下図をB3ボードに転写	1時間
オイルパステルで描く	8時間
コンテで修正	1時間
ラッカースプレー等で画面の定着	1時間



試し描き



### 4 題材の評価基準

美術への関心意欲態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力

<p>ブラックボードの看板としての目的と書き込める機能を考えて表現することに関心をもち、主題を生成し、オイルパステルらしい色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想をねらっている</p>	<p>黒板としての機能や用途を考慮して下図を考えることにより、主題を生成している。主題を基にオイルパステルの特性、色彩、質感の造形要素の働きを考え創造的な表現の構想を練っている</p>	<p>明暗や立体感をオイルパステルを使いブラックボードの特性を生かして表現している。</p>	<p>作品を生徒で互いに鑑賞しあうことにより、その作品の良さを味わう</p>
--	--	--	--



文字を入れる・グラデーションの表現を生かす

5 その他 オイルパステル(クレパス)で黒いボードにグラデーションや明暗と立体感を生かした表現が実習できる。黒板としての用途を考えながら構想を練ることができる。生徒は楽しんで制作していた。

千葉県立印旛明誠高等学校 芸術科 美術 齋藤公美子

## チョークアートで使用のもの

### 黒板塗料



黒以外に緑・グレーなど色々あります。塗装後 水でチョークを拭き取れる塗料、マグネットが使える塗料もあります

### MDF合板に塗料を塗る道具



ローラー

スポンジ刷毛

### オイルパステル



メーカーによって黒板への「のり」がちがう

### 指をつかう



指で色の定着、ぼかしの表現



エタノールなどで指の汚れを拭き取る

次の色に移るときに指がよごれているとNG

### その他の道具



チャコペーパー・・・下図の転写

ボールペン・・・下図をなぞる

デザインカッター・・・マスキングに使用

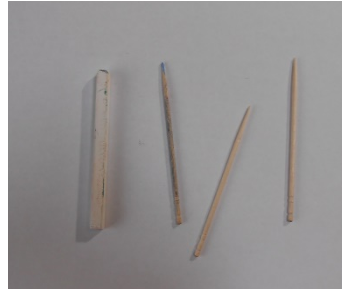
消しゴム・・・オイルパステルで描いたところを消したいとき

刷毛・・・消しゴムのカスを画面から払い落とす、手で払うとオイルパステルで描いた表面を汚してしまう

## あると便利なもの



マスキングテープ



白コンテ・下図の黒板の上での描きなおし、オイルパステルの白に混ぜて白をより白くしたいとき使用

つまようじ・描いてはみ出したときの修正用

## オイルパステルの定着



基本的に仕上がりにマットになるもの

右から

パステルフィクサチーフ はじめに使用1回かける

UVマットバーニッシュ 次に使用1回かける

ラッカースプレー艶消し 最後に4～5回かける

表面が乾いていることを確認してからスプレーします

※乾くまでは絵の表面を触らない！！ベタベタしているので触った手の形がそのままついてしまいます